令和５年１１月１９日　親子うなぎ教室の様子
９組１８人の親子に参加していただきました。
簡単な講義から始まり、出荷されるうなぎや養鰻池の見学、最後は弁天島海浜公園でマリアナ海峡まで元気に行ってと願いを込めて放流しました。
当日は風が強く、放流ができるかどうか不安もありましたが、参加した子供達は元気よく放流してくれました。

尾数	オス０尾	メス８尾	合計８尾
重量	―	5.0kg	5.0kg
平均重量	―	625g	625g

ウナギの養殖場などを見学する参加者＝浜松市西区

親子でウナギの養殖場見学

西区で教室　放流体験も

ウナギの資源回復を推進する「浜名湖発親うなぎ放流連絡会」（加茂仙一郎会長）はこのほど、ウナギの生態を学んだり、放流を体験したりする親子教室を浜松市西区の弁天島海浜公園などで開いた。地元の親子9組が参加した。

参加者は同区の水産加工会社「海老仙」で、同社の代表も務める加茂会長からウナギをはじめとする水産資源の保護活動について説明を受け、養殖場も見学した。

公園に移動後、1家族につき親ウナギを1尾ずつ浜名湖に放流した。子どもたちは手で優しくつかみ、砂浜の波打ち際に放った。静岡大付属浜松小6年の川崎凛愛さんは「なでている時は柔らかかったけど、手に持つと身を硬くした。面白い感触だった」と笑顔を見せた。

令和５年１１月２１日　第１回放流事業の様子

当日は快晴で風もなく、今切口沖 2.7 キロメートル地点で放流することができました。報道関係にもたくさん集まっていただき、ご報告ができました。

尾数	オス 186 尾	メス 135 尾	合計 321 尾
重量	50.6kg	73.9kg	124.5kg
平均重量	272g	547.4g	387.9g

来につなごう!

静岡新聞

遠州灘 親ウナギ放流

浜名湖で採捕 資源回復へ水産業者ら

浜名湖周辺のウナギ生産者や仲買人、料理店などでつくる「浜名湖発親うなぎ放流連絡会」は21日、湖内で採捕した天然のニホンウナギ321匹（124・5㌔）を遠州灘に放流した。産卵場所とされるマリアナ海溝への遊泳を促して資源回復につなげる。年内に、さらに2回放流する予定。

浜名湖で採捕したニホンウナギを沖合に放す会員＝21日午後、浜松市の遠州灘（代表撮影）

湖内の定置網にかかったウナギの一部を連絡会が買い取り、親ウナギにする取り組み。クラウドファンディングで資金を募り、本年度は25人から73万円が寄せられた。放流したのはいずれも「銀化ウナギ」と呼ばれ、体が繁殖準備に入った個体。成育は例年並みで、大きいウナギは体長約70㌢、重さ1㌔に及んだ。

会員らは浜松市西区の舞阪漁港から漁船で沖合に出て海中に放した。加茂仙一郎会長（63）は「米養価が高く、おいしいウナギを多くの人に食べてもらえるよう、漁獲高の増加を願って取り組んでいる。日本の食文化と地域の水産業を将来につなげるため、みんなで資源を守りたい」と願いを込めた。

ニホンウナギは国際自然保護連合（ＩＵＣＮ）の絶滅危惧種に指定されていて、稚魚のシラスウナギの漁獲量も減少傾向が続いている。（浜松総局・宮坂武司）

R5.11.22 中日新聞

ウナギ漁獲増期待

資源回復へ遠州灘沖に321匹放流

浜名湖で取れたウナギを放流し、資源回復につなげる事業が21日、遠州灘沖であった。大きいもので体長60～70㌢に育ったウナギ計321匹（124・5㌔）が海へ放たれた。

（荒木正親）

海へ放流されるウナギ＝遠州灘で（代表撮影）

仲買人ら「連絡会」

ウナギの仲買人や漁協の組合員らで組織する「浜名湖発親うなぎ放流連絡会」が2013年から取り組む「ニホンウナギ資源回復プロジェクト」。会員ら20人が浜松市西区の舞阪漁港から2隻の漁船に乗り、沖合約3㌔の地点で放流した。

ウナギは日本から南へ約3千㌔のマリアナ海溝付近で産卵する。生まれた稚魚のシラスウナギは、サケのように生まれた川に帰る本能はないが、海流に乗って日本近海に戻ってくると考えられている。

連絡会の加茂仙一郎会長（63）は「浜名湖でシラスウナギの漁獲高が増えれば価格が安定し、食卓に並ぶ機会も増える。自分たちの手で資源を循環させていきたい」と話した。

費用の一部はインターネット上のクラウドファンディングで募り、8～9月に25人から73万円を集めた。年内にあと2回の放流を行う。

2023（令和５年）12月5日　（旬刊）5・15・25日発行
日本 養殖新聞 THE NIHON YOSHOKU SHINBUN
第1796号　株式会社日本養殖新聞
← 日本養殖新聞の各SNSが見られます　メール info@yoshoku.com

うなぎ蒲焼 佳成食品株式会社 TEL 5217-1181 FAX 5217-1182

シラス豊漁願い 親うなぎ放流

〈浜名湖発親うなぎ放流連絡会〉

ニホンウナギの資源保護を目的に毎年、親うなぎを放流している浜名湖発親うなぎ放流連絡会（加茂仙一郎会長）が21日、浜名湖で今年度の親うなぎの放流を実施した。

浜名湖発親うなぎ放流連絡会は浜松市内のうなぎ料理専門店や浜名湖漁り、オブザーバーとして静岡県や浜松市も参加している。

連絡会では放流について関係者や市民に知ってもらおうと、今年度は会員合わせて20名が1隻ずつ2隻の船に分乗、浜松市の舞阪漁港からおよそ2.7km南の沖で、産卵のためにマリアナ海溝付近まで泳いでいってほしいという願いを込めて親うなぎを放流。放流された親うなぎはオスが50.6cm～86cm、メスが73.9cm～135cmの、合わせて124.5kg 321尾。連絡会の加茂仙一郎会長は「1匹でも多くシラスウナギが来遊することを願っている。シラスウナギが多く捕れることで価格が安定に行われる」と話している。

親うなぎの放流は年内に残り2回実施される予定。

島の漁業協同組合、指定仲買人などで組織され、ニホンウナギの資源回復を目的に2013年から毎年、浜名湖で獲ったうなぎの放流事業に取り組んでおり、8月1日から9月29日まで、クラウドファンディングを通じて放流資金を募集、25人から目標の71万円を上回る73万円が集まった。

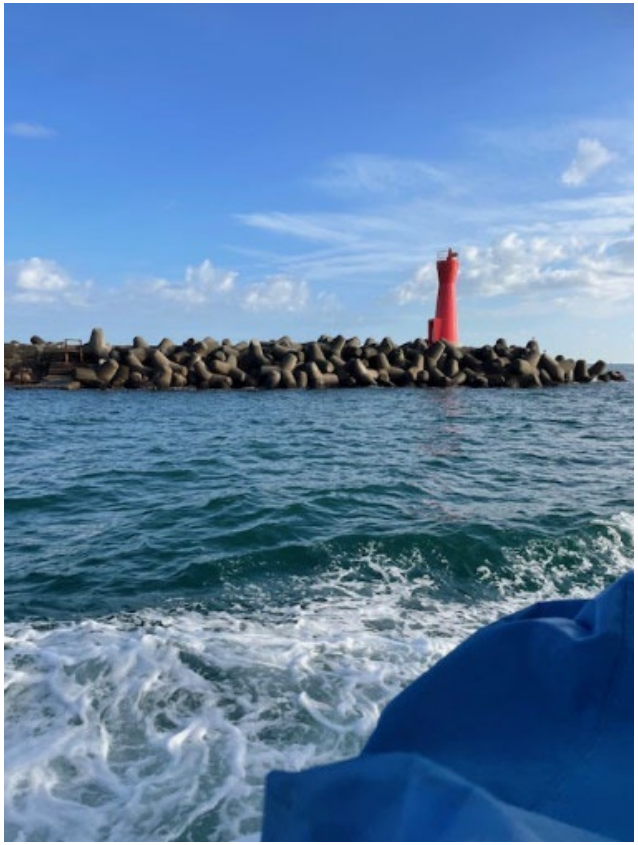
令和５年１２月４日　第２回放流事業の様子
天気予報では穏やかでありましたが、沖合に出ると波やうねりがあり、陸から見ている環境とは全く違うことに気づかされました。
安全を考慮し、無事に放流を行いました。

尾数	オス 40 尾	メス 40 尾	合計 80 尾
重量	8.9kg	22kg	30.9kg
平均重量	222.5g	550g	386.3g

未来につなごう！
ウナギの資源と食文
浜名湖
太平洋
マリアナ海溝

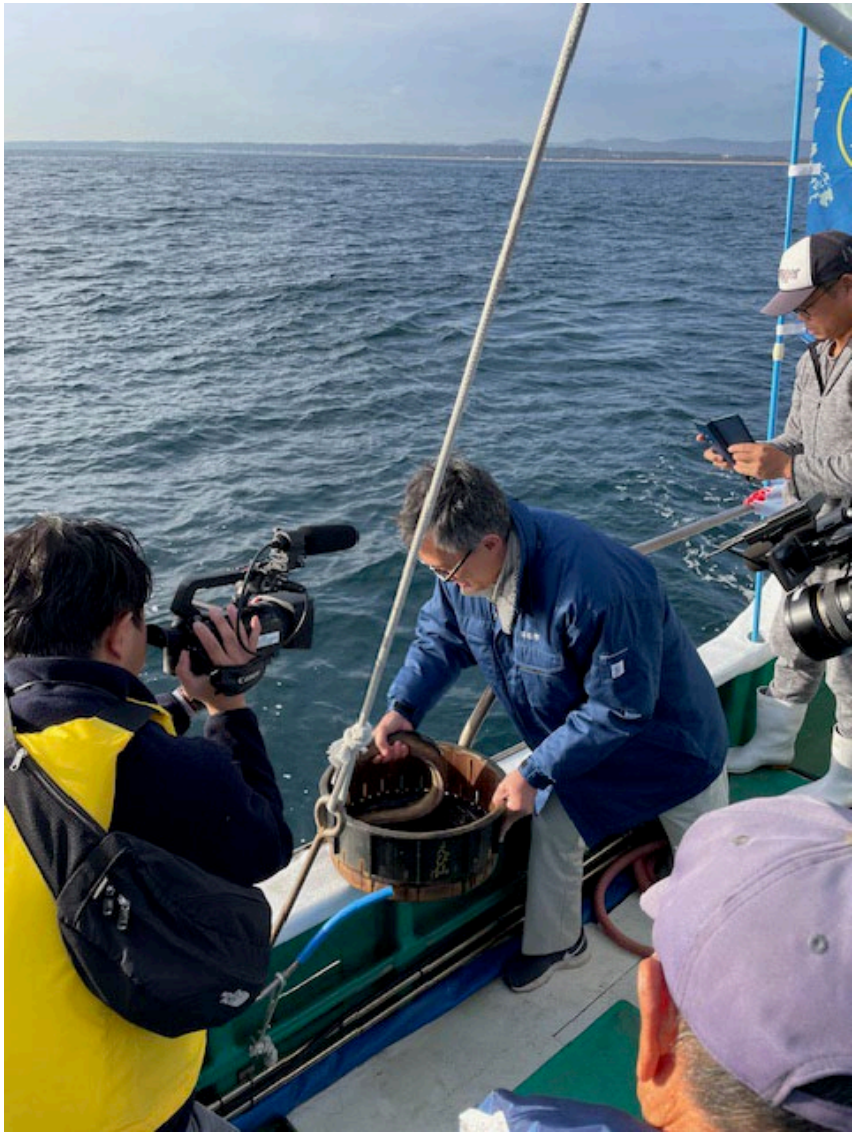
令和５年１２月１４日　第３回放流事業の様子
予報では風は１ｍから２ｍとなっており、風は少し冷たい風を感じる程度で、絶好の放流日和でした。
今切口を出て遠州灘に出ても船が大きく揺れることはなく、穏やかな海でした。

尾数	オス 22 尾	メス 40 尾	合計 62 尾
重量	5.2kg	19.2kg	24.4kg
平均重量	236.4g	480g	393.5g



太平洋
マリアナ海溝

太平洋
マリアナ海溝
ウナギの食源と産卵



本事業における下りウナギの放流内訳

平成25年度放流内訳	11月1日	11月22日	11月29日	合計
重量（kg）	80.03	79.25	40	199.28
尾数（本）	122	115	58	全て雌　295
平均重量(g)	656	689	690	676

平成26年度放流内訳	11月17日	11月27日	12月10日	合計
重量（kg）	127	80	40	247
尾数（本）	280	195	89	雌456　雄108　564
平均重量(g)	454	410	449	438

令和27年度放流内訳	11月20日	12月7日	12月21日	合計
重量（kg）	67.3	126.2	97.8	291.3
尾数（本）	165	295	236	雌551　雄145　696
平均重量(g)	408	428	414	419

令和28年度放流内訳	11月15日	11月30日	12月8日	合計
重量（kg）	173.8	213.8	22.6	410.2
尾数（本）	366	530	36	雌752　雄180　932
平均重量(g)	475	403	628	440

本事業における下りウナギの放流内訳

平成29年度放流内訳	11月28日	12月15日	月　日	合計
重量（kg）	105.7	68	0	173.7
尾数（本）	263	209	0	雌287　雄185　472
平均重量(g)	402	325	0	368

平成30年度放流内訳	11月8日	11月27日	12月17日	合計
重量（kg）	176.2	101.4	142.9	420.5
尾数（本）	282	233	380	雌586　雄309　895
平均重量(g)	625	435	376	470

令和元年度放流内訳	11月1日	11月27日	12月10日	合計
重量（kg）	101.2	241.2	85.9	428.3
尾数（本）	229	545	265	雌616　雄423　1,039
平均重量(g)	442	443	324	412

本事業における下りウナギの放流内訳

令和２年度放流内訳	10 月 29 日	11 月 16 日	12 月 11 日	合計
重量（kg）	87.8	220.4	80	388.2
尾数（本）	183	434	208	雌 563　雄 262　825
平均重量(g)	479.8	507.8	384.6	470.5

令和３年度放流内訳	11 月 14 日（親子うなぎ教室）	11 月 17 日	11 月 29 日	12 月 10 日	合計
重量（kg）	5	99.6	119.7	101.1	325.4
尾数（本）	9	215	256	255	雌 503　雄 232　735
平均重量(g)	555.6	463.3	467.6	396.5	442.7

令和４年度放流内訳	11 月 20 日（親子うなぎ教室）	11 月 24 日	12 月 12 日	月　日	合計
重量（kg）	5	148.5	33.2	0	186.7
尾数（本）	9	351	98	0	雌 322　雄 136　458
平均重量(g)	555.6	423.1	338.8	0	407.6

本事業における下りウナギの放流内訳

令和5年度放流内訳	11月19日 （親子うなぎ教室）	11月21日	12月4日	12月14日	合計
重量（kg）	5	124.5	30.9	24.4	184.8
尾数（本）	8	321	80	62	雌223　雄248　471
平均重量(g)	625	387.9	386.3	393.5	392.4